

#### (4) 天候に関する伝承・諺(用語、その他)の調査結果

天候に関する伝承・諺(予報関係)の調査の中で、併せて採録した天候に関する用語等を、動物、気象、季節に関するもの等に分けて整理をした。

##### 動物に関するもの

###### 1) ネコ

- ・ 三毛猫(の雄)は天気を知る

##### 気象に関するもの

###### 1) 晴れ、曇り、雨

- ・ 朝上がり(:あさあがり=朝の夕立後の天気)
- ・ 朝茜(:あさあかね=朝焼け)
- ・ ひなおる(=天気が良くなってくること)
- ・ 日照りが続いた後に雨が降ると「米祝い」と言い、餅つきをした
- ・ 花が咲いてかんかん照りが続くと「花焼けする」と言った
- ・ 日が差す中、雨が降ると虹ができる、虹を渡ってキツネが嫁入りする
- ・ 雨の口が開く(=天気が長く続いた後にようやく雨が降り始め、それが続くこと)
- ・ 走り雨(:はしりあめ=すぐやむ雨)
- ・ 庚申降り(:こうしんぶり=庚申の日の雨)
- ・ 嵐荒れ(:あらしあれ=台風が来て荒れること)
- ・ 時雨日(:しぐれび=細かい雨の降る日)
- ・ 夜雨(:よさめ=夜の雨)
- ・ 丑寅の雨(:うしとらのあめ=北東方向から吹きこむ雨)
- ・ 晴虹、雨虹(=晴れる虹と雨が降る虹(がある))
- ・ 海山道さんの日に雨が降ると、狐が傘さして歩いとる
- ・ 北上り(:きたのぼり=北西方向に移動する雲)

###### 2) 雷

- ・ 雷は川(=鈴鹿川)を伝う(=雷は鈴鹿川沿いに来る)
- ・ 雷は山を伝う(=雷は山伝いに移動する)
- ・ 雷は谷渡りする(=雷は谷を渡って来る)
- ・ 雷が鳴ったら金物を捨てよ(=鍬等を持って歩くな)
- ・ 雷は高い木に落ちる、雷が鳴ったら高い木の根に寄るな
- ・ 雷が鳴ったら木の下へ行け
- ・ 雷が鳴ったら蚊帳(特に、麻の蚊帳)を吊り中へ入れ(ば避けられる)
- ・ 雷が鳴ったら蚊帳(特に、麻の蚊帳)を吊り中へ入れ、雷は蚊帳の周りをぐるぐる回る
- ・ 節分の豆を残し、仏さん(又は 神さん)に上げ、(初)雷が鳴った時(又は 土用)に食べれば雷に打たれない
- ・ 年越しの豆を初雷が鳴った時に食べると雷に打たれない
- ・ 雷が鳴ったら軒下に鍬を立てる(=鍬の先を仰向けにしておくこと)と雷が落ちない
- ・ 雷が鳴ったら軒下に鍬を立てると雷が落ちない、その鍬を「くわばらさん」と言った
- ・ 雷が鳴ったら家の外に鍬を出せ
- ・ 雷が鳴ったら鎌を藁で竹にからげて、かいど(=前庭)に立てよ
- ・ 雷が鳴ったら仏さんに線香をあげて拝むと雷に打たれない
- ・ 雷さんは線香のにおいがきらい
- ・ 雷が落ちたら(又は 雷が鳴ったら)井戸のふたをしる
- ・ 雷が鳴ると「くわばら、くわばら」という(、その言葉を雷がきらう)

- ・ 雷が鳴ったらへそ隠せ、へそ出しとると雷さんが取ってくぞ
- ・ 雷が鳴ると「くわばら、くわばら、ここは海の真ん中」と唱えた
- ・ へそを出しとると雷がへそに落ちる
- ・ 三つの屋根 (= 屋根、天井、蚊帳) があるところにいると雷に打たれない
- ・ 坂下には雷は落ちない (鈴鹿さん (= 片山神社) の井戸に雷が落ち、神主が蓋をしたら、雷さんが神主に坂下には二度と落ちないと約束し許してもらった、という謂れから)
- ・ (西から来て、) 東へ行く雷を「鳴り下がり」という
- ・ 東からのぼってくる雷を「鳴り上がり」という
- ・ のぼり雷、くだり雷

## 季節に関するもの

### 1) 春

- ・ 寒のもどり
- ・ 春の初めに吹く強い南風は「春一番」
- ・ (お) 糺迦 (さん) の荒れ (= 3月15日の悪天候)
- ・ 神戸の (寝) 糺迦の荒れじまい (= 3月15日の悪天候)
- ・ 花冷え (= 桜の咲く時期の冷え込み)
- ・ 春に雷がなると「春一番」
- ・ 野登さんの荒れ (= 4月7日の悪天候)
- ・ お大師さんの荒れ (= 4月21日の悪天候)
- ・ 春の日長とおじさんとこにできるボタモチはくれそうでくれない
- ・ 春の夕暮れと隣のボタモチはくれそうでくれやん

### 2) 夏

- ・ 虎御前の涙雨 (= 旧暦5月28日の雨)
- ・ せつあき (= 梅雨が明けけること)
- ・ 土用つぶれ (= 土用の雨)
- ・ 土用の雨
- ・ 大ぐそ流し (= 津島神社の天王祭の後の雨)
- ・ 伊勢の夕凧 (= 7月の終わりに急に風がなくなって暑くなること)

### 3) 秋

- ・ 毘沙の鼻たれ (:びしゃのはなたれ = 毘沙門天の祭りの日 (9月20日頃) の雨)
- ・ ながせ日和 (:ながせびより = 9月の雨が降ったりやんだりする天気)
- ・ 丑寅の風 (:うしとらのかぜ = 台風を迎え風となる北東風)
- ・ 秋の日は釣瓶落とし  
「台風が来ないようにと宮さんに泊って「風ごもり」を2日した」(山中)

### 4) 冬

- ・ 田村さんの荒れ (= 田村神社の回除大祭時 (2月17~19日) の悪天候)
- ・ 田村風 (= 田村神社の回除大祭時頃に吹く寒冷な風) が吹いてきたらあられに風入れよ
- ・ 田村さんの風にあたるとかき餅が割れる
- ・ 寒がれ (= 寒の荒れ)
- ・ 寒雨 (= 寒の雨)
- ・ 大霜となると霜倒れする
- ・ 凍てこぼれ (= 霜柱で上がった土が落ちていくこと)

## その他

### 1) 暦(彼岸、八専)

#### ア 彼岸

- ・ 彼岸日和( : ひがんびより = すっきりとしない天気、又は 暖かくて良い天気)
- ・ 彼岸照り( : ひがんでり = 彼岸の晴れ)
- ・ 彼岸曇り( : ひがنگもり = 彼岸の曇り)
- ・ 降らず照らずの彼岸日和
- ・ 彼岸つづれ( = 彼岸の雨)
- ・ 彼岸の荒れ( = 彼岸の悪天候)
- ・ 彼岸半つづれ( = 彼岸は半分天気で、半分雨)

#### イ 八専

- ・ 八専の寝返り( = 八専に入って良い天気が続くこと)
- ・ 八専つづれ( = 八専の雨)
- ・ 八専つづれで世の中悪い
- ・ 八専崩れ( : はっせんくずれ)

### 2) その他

- ・ 下向きの三日月は「ぶっちゃけ三日月」、上向きの三日月は「受け三日月」
- ・ 地震、雷、火事、親父